

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

武庫川団地を手作りのランプで彩る 生活環境学科の学生たちがイベントを開催

生活環境学科の学生たちが7月2日、9日、武庫川団地を手作りのランプで彩るイベント「赤胴車灯工房」と「ナイトピクニック」を開催します。

阪神電鉄とUR都市機構等が7月9日に開催する「赤胴車マルシェ」の関連イベントで、「赤胴車灯工房」は球形とテント型のランプシェードを作るワークショップです。「ナイトピクニック」は9日に実施。ワークショップで手作りした約300個のランプシェードに電池式のキャンドルを入れて赤胴車の車内や周辺の広場に思い思いに飾ります。

イベントを実施するのは生活環境学科まちづくりコースの授業「フィールドデザイン演習Ⅲ」を履修する学生8人。フィールドデザイン演習はフィールドワークを通して地域の課題解決や魅力創出につながる企画を提案する実践型の授業です。今回、学生たちは阪神電鉄とUR都市機構の協力を得て、武庫川団地をフィールドに調査を実施。長く地域の足として活躍した阪神武庫川線の「赤胴車」の車両が武庫川団地の広場に設置され、地域のコミュニケーションスペースとしてオープンして7月で1年になることから、「武庫川団地及び赤胴車の活性化」をテーマに据え、高齢化やコロナ禍等の影響で地域の交流が減っている現状の課題解決を目指しました。

学生たちは「住民同士が戸外で交流する」ことを軸にイベント案を検討。当初、親子向けを想定していましたが、「大人も本気で楽しんでもほしい」「夜の方が過ごしやすい」などの意見が出たことから、夜間、ランプシェードに電池式のキャンドルともして過ごすイベントを企画しました。ランプシェードを手作りするワークショップと組み合わせることに。さらに、当日の参加者の交流を促すアトラクションとして、最近注目されているフィンランド発祥のスポーツ「モルック」を取り入れました。

イベントの両日、学生たちはワークショップで子どもたちの作品づくりをサポートし、作品を展示して赤胴車のある広場をにぎやかに彩る予定です。現在は学内や駅、団地等の掲示板に掲出するポスターやチラシを制作するとともに、Instagramを中心に情報を発信中。6月9日の授業では、ランプシェードを作る様子をインスタ用に動画撮影しました。

生活環境学科4年の占野早苗さんは「武庫川団地は緑が多くて散歩したり、公園で遊んだりできる場所が多く、魅力がいっぱい。足を運ぶごとにこの団地がどんどん好きになりました。ワークショップやモルックを通して地域の人たちが交流し、団地の魅力を再確認する機会になれば」と話しています。

イベントの日程は以下の通りです

1、赤胴車灯工房

■日時

2022年7月2日（土）、7月9日（土）

13:00~、14:00~、15:00~(各回50分)

■場所

7月2日：UR武庫川団地 赤胴車のある広場（西宮市高須町2丁目1番）
赤胴車内

7月9日：UR武庫川団地 赤胴車のある広場 赤胴車内及び赤胴車外デッキ下

■実施内容

麻ひもや紙を使ったランプシェードづくりの体験

■対象

小学生以上（保護者同伴であれば未就学児も参加可能）

各回10人

■参加方法

無料 要事前申し込み <https://forms.gle/zoUPuZgpWBZgZQCD8>

2、ナイトピクニック

■日時

2022年7月9日（土） 18:00~20:00

■場所

UR武庫川団地 赤胴車のある広場

■実施内容

ワークショップ「赤胴車灯工房」で制作したランプシェードを展示。

灯りを眺めながらレジャーシートを広げて夜のピクニックを楽しみます。

■参加方法

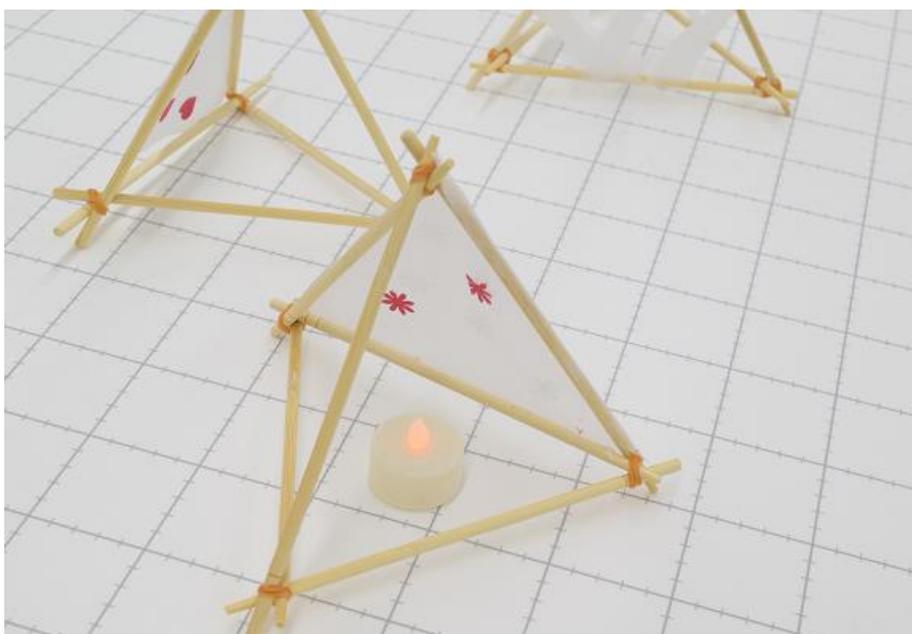
無料 予約不要

この件についてのお問い合わせは
広報室（TEL：0798-45-3533）までお願いします

なお、このイベントのご案内は阪神電鉄から青灯記者クラブ、近畿電鉄記者クラブにも17日付けで送付しています。また、UR都市機構のコーポレートサイトにも記載される予定です。



麻ひもを使った球形のランプシェード



テント型のランプシェード



動画を撮影する学生たち